

中国の停電は
温暖化対策が原因か？

注目ワード

新型コロナ 国内感染者数

新型コロナ ワクチン（日本国内）

ノーベル賞2021

2021衆院選

事件

事故

中国で電力の供給制限広がる 景気も減速傾向 現状や見通しは

2021年10月2日 19時20分

中国では9月から幅広い地域で電力の供給制限が広がり、地元メディアは広東省や江蘇省、浙江省、遼寧省など、20余りの省などに影響が出ていると伝えています。

一部の地域では住宅地で停電が起きたほか、製造業が集積する広東省などでは企業の工場の操業停止も相次ぎました。

電力不足の背景は地域によっても異なりますが、火力発電所で使われる石炭などの価格が国際的に高騰しているため、電力会社が発電所の稼働率を落としていることや、二酸化炭素の排出量削減のため環境規制が強化されていることなどがあるとされています。

中国政府は、2060年までに二酸化炭素の排出量の実質ゼロを目指すとしていて、習近平国家主席は、ことし4月「中国は石炭火力発電を厳しく制限していく。2025年までに石炭の消費の伸びを抑え込み、2030年までに徐々に減らしていく」と述べています。

こうした中、政府はことし8月中旬、エネルギー消費量の削減目標についてことし上半期の達成状況を各省に通知していて、この達成状況が悪かった省などが環境規制を強めているとみられています。

ニュース&トレンド



中国で続く計画停電、原因は 電力不足ではなく“中国 流”の脱炭素推進だ

新たな経済競争「ゼロカーボノミクス」で独走する中国の思惑

山根 小雪 = 日経エネルギーNext 2021/10/14 05:00 1/2ページ

8月から中国各地で始まった計画停電は、徐々に範囲が広がっている。石炭価格の高騰影響はあるものの、電力不足が起きているわけではない。今回の計画停電は、あくまで中国政府による脱炭素推進策の1つだ。

- 1 中国の停電の現状
- 2 「温暖化対策で停電に」報道
- 3 停電の根本原因は石炭火力発電の不足
- 4 「豪州との紛争が原因」報道
- 5 風力発電の急拡大で東北地方が停電に
- 6 工場が操業を止めた本当の理由は
- 7 中国は安定供給を軽視しているのか
- 8 石炭火力の売電価格引き上げは正解
- 9 今後の見通しは

石炭→高騰

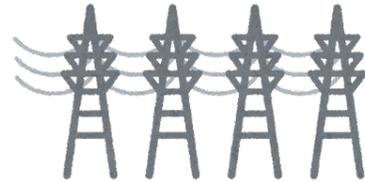


発電所→発電コスト上昇



卸売電力価格抑制
→逆ザヤの発生

中央政府
小売電気料金
抑制



地方政府
→「温暖化対策」
電力需要減少
停電の原因になり得ない！

市民生活



工場・商店



結論

1. 停電は中国がCO2対策に本気だという証拠ではない。
2. 停電の最大の理由は、火力発電に正当な評価を与えなかったこと。
3. 再エネの急拡大も停電の原因。